

(有償版) DRM-PF ベクトルサイト マニュアル

第 1.3 版

令和 6 年 10 月

(一財) 日本デジタル道路地図協会

(有償版) DRM-PF ベクトルサイトについて

基本的な画面操作（地名・座標等による地点検索、レイヤの表示切替え、作図など）は、「地理院地図 Vector（仮称）」に準じます。

本マニュアルでは、(有償版) DRM-PF ベクトルサイト固有の画面操作についてのみ、解説いたします。

改訂履歴

年月	版	内容
2024年6月	1.0	初版
2024年9月	1.1	・以下の節にバルク処理確認方法について追記 [2. 1. DRM DB API ログイン] [2. 3. 座標取得（指定地点標）CSV 機能] [2. 5. 座標取得（PID 他）CSV 機能] [2. 7. 座標取得（路線番号）CSV 機能] [2. 9. 最寄りリンク取得 CSV 機能]
2024年10月	1.2	・以下の章、節を追加 [1. 4. 過去版ベクトルタイル表示] [1. 5. その他レイヤの表示] [2. 19. ルート検索] [3. 応用編]
2024年10月	1.3	[1. 5. その他レイヤの表示]にレイヤの説明を追記

目次

1. 基本編	4
1. 1. 基本画面構成	4
1. 2. API 実行後の挙動説明	6
1. 3. 凡例	7
1. 4. 過去版ベクトルタイル表示	9
1. 5. その他レイヤの表示	10
2. 個別操作編	12
2. 1. DRM DB API ログイン	12
2. 2. 座標取得（指定地点標）機能	13
2. 3. 座標取得（指定地点標）CSV 機能	14
2. 4. 座標取得（PID 他）機能	16
2. 5. 座標取得（PID 他）CSV 機能	17
2. 6. 座標取得（路線番号）機能	19
2. 7. 座標取得（路線番号）CSV 機能	20
2. 8. 最寄りリンク取得機能	22
2. 9. 最寄りリンク取得 CSV 機能	23
2. 10. 集約交差点取得機能	25
2. 11. 集約交差点設定機能	26
2. 12. ポリゴン取得（集約交差点）機能	27
2. 13. 集約交差点解除機能	28
2. 14. バルク処理確認機能	29
2. 15. ゾーン 30 分割機能	30
2. 16. ゾーン 30 入力・修正	31
2. 17. ゾーン 30 確認・登録	32
2. 18. ゾーン 30 確認・登録（複数）	33
2. 19. ルート検索	34
3. 応用編	35
3. 1. 道路リスクアセスメント可視化	35

1. 基本編

1. 1. 基本画面構成

基本画面の構成について、解説いたします。

※数字箇所については、下方にて詳細説明



項目	説明
①表示レイヤ	国交省道路基準点、DRM 距離標、基本道路 or 全道路ノード、基本道路 or 全道路リンク、基本道路 or 全道路リンク属性が表示されます なお、国交省道路基準点と、DRM 距離標については、「 距離標について 」を参照して下さい

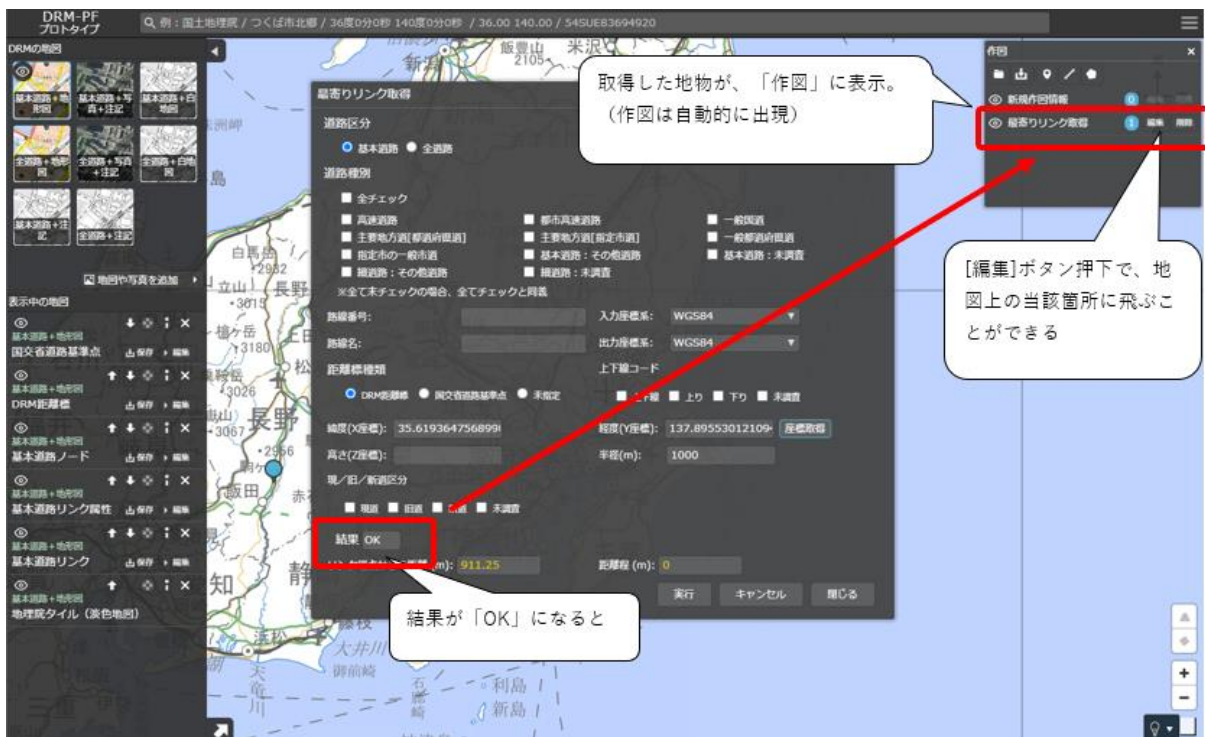
項目	説明
②属性表示	<p>レイヤごとの取得可能な属性は次のとおり※1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交章道路基準点： 地方整備局名、道路種別、路線（番号）、現旧新区分、地点標名称 ・DRM距離標： 道路種別コード、路線（番号）、リンク番号、パーマネントID ・リンク： パーマネントID、リンク番号、道路管理者、道路種別、路線番号、リンク長 ・ノード： パーマネントID、ノード番号、基本道路ノード種別、全道路ノード種別 ・リンク内属性： リンク番号、道路種別コード、属性種別コード、属性延長、車両通行規制コード、施設管理コード
③P-ID 検索	<p>「直接入力」による検索、もしくは「CSVファイル入力」による複数一括検索ができます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接入力： テキストボックスにP-IDを直接入力してください。カンマ区切りで複数検索することも可能です。（入力例：5080022974.00000, 5080029355.00000） ・CSVファイル入力： フォルダアイコンをクリックして、複数のP-IDを列挙したCSVファイルを読み込んでください（CSVファイルの例：5080022974.00000, 5080022974.00000, 5080022831.00000） <p>また、P-IDの整数部分10桁のみを入力すると小数部分の値に関わらず整数部分だけで検索することができます。（入力例：5300000857 → 5300000857.00000, 5300000857.10000, 5300000857.20000, 5300000857.11000, … がヒットする）</p>

※1 API を用いてデータ取得した場合、道路センサ情報や、上下線名、速度規制コードなど、DRM-PF が保持している全属性が取得可能

1. 2. API 実行後の挙動説明




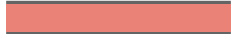
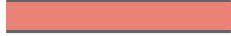















(有償版) DRM-PF ベクトルサイトでは、画面から API を呼び出すことができます。















ここでは、API 実行後の挙動を解説いたします。どの API でも実行後の挙動は同じになります。



1. 3. 凡例

DRM-PF（有償版）凡例

凡例	タイプ	大分類	中分類	小分類	
	線	基本道路	リンク	高速道路	
	線			高速道路（国道有料区間）	
	線			高速道路（高速無料区間）	
	線			都市高速道路	
	線			一般国道（指定区間該当）	
	線			一般国道	
	線			主要地方道〔都道府県道〕	
	線			主要地方道〔指定市道〕	
	線			一般都道府県道	
	線			指定市の一般市道	
	線			基本道路：その他道路	
	線			基本道路：未調査	
	線			リンク内属性	トンネル
	線				橋・高架
	線	洞門等			
	線	踏切			
	線	アンダーパス			
×	点	ノード			
	線	全道路	リンク	高速道路	
	線			高速道路（国道有料区間）	
	線			高速道路（高速無料区間）	
	線			都市高速道路	
	線			一般国道（指定区間該当）	
	線			一般国道	
	線			主要地方道〔都道府県道〕	
	線			主要地方道〔指定市道〕	

	線	全道路	リンク	一般都道府県道	
	線			指定市の一般市道	
	線			基本道路：その他道路	
	線			基本道路：未調査	
	線			細道路：その他道路	
	線			細道路：未調査	
	線			リンク内属性	トンネル
	線				橋・高架
	線				洞門等
	線				踏切
	線				アンダーパス
×	点			ノード	全道路ノード（基本道路上）
×	点				全道路ノード（その他）
	点	距離標	距離標(DRM)	高速道路	
	点			一般国道	
	点		距離標(国交省道路基準点)		

1. 4. 過去版ベクトルタイル表示

過去版のベクトル地図レイヤを表示することが出来ます。操作方法は以下の通りです。

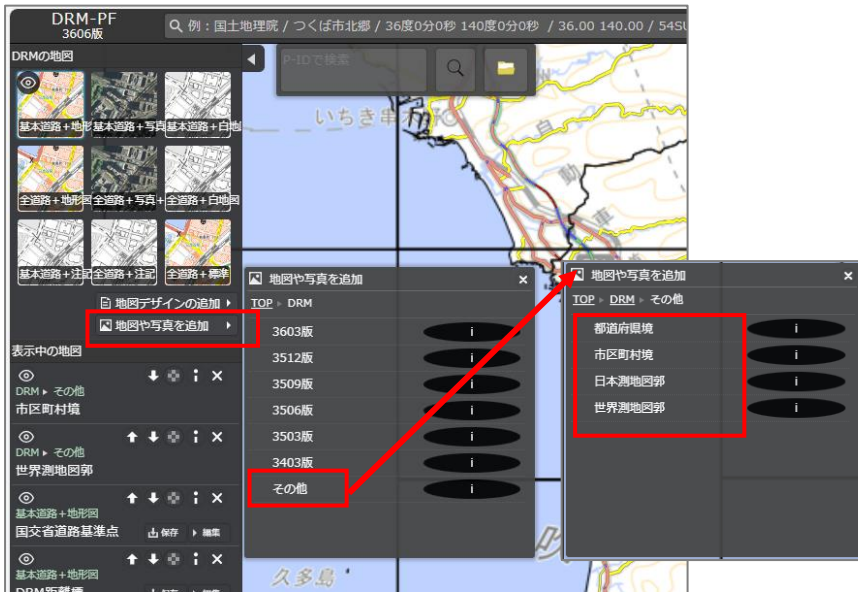


1. 5. その他レイヤの表示

有償版地図サイトでは以下のレイヤを表示することが出来ます。

- 世界測地図郭（2次メッシュ）（※1）
- 日本測地図郭（2次メッシュ）（※1）
- 都道府県境（※2）
- 市町村境（※2）

表示方法は下図の通りです。



※1 DRM 協会で作成。国土地理院等が公開する 2 次メッシュ図郭とは差異があります。詳しくは次頁の【補足】で説明します。

※2 都道府県境と市町村境は国土数値情報>行政区域データ¹を使用しています。

¹ 国土数値情報 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03-2024.html>

【補足】世界測地図郭、日本測地図郭について

DRM 作成の世界測地図郭と日本測地図郭は国土地理院等が公表する 2 次メッシュの図郭と一部異なる部分がありますので注意してください。

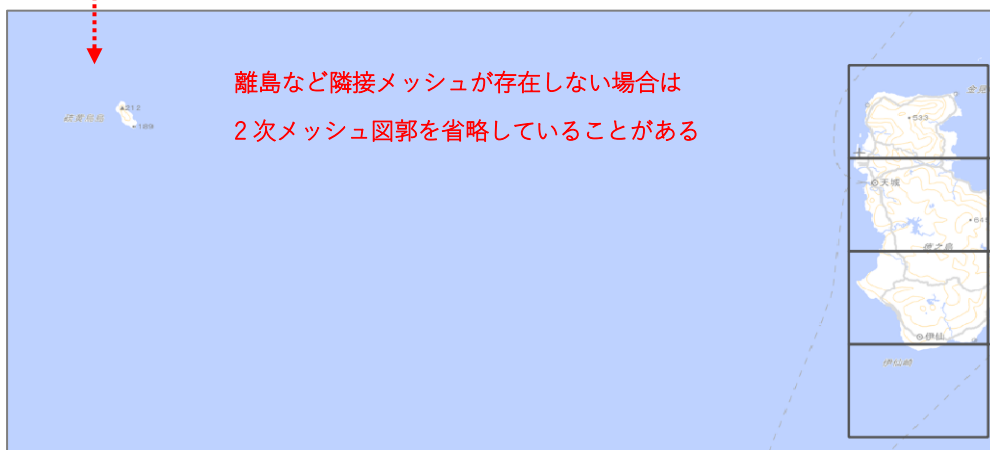
例) 離島 … 2 次メッシュ区画が 1 区画で独立している (隣接メッシュが存在しない) 場合、図郭を省略している 2 次メッシュがある。



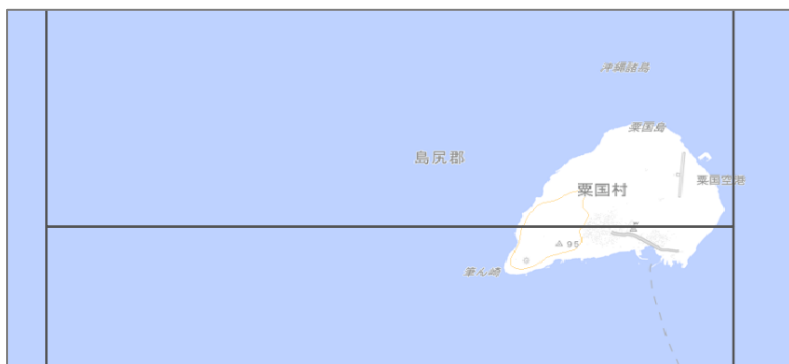
出典：基盤地図情報ダウンロードサービス

上図：国土地理院の 2 次メッシュ図郭

下図：DRM 作成の 2 次メッシュ図郭



※区画線が陸上を通過している場合は DRM の図郭も必ず存在します



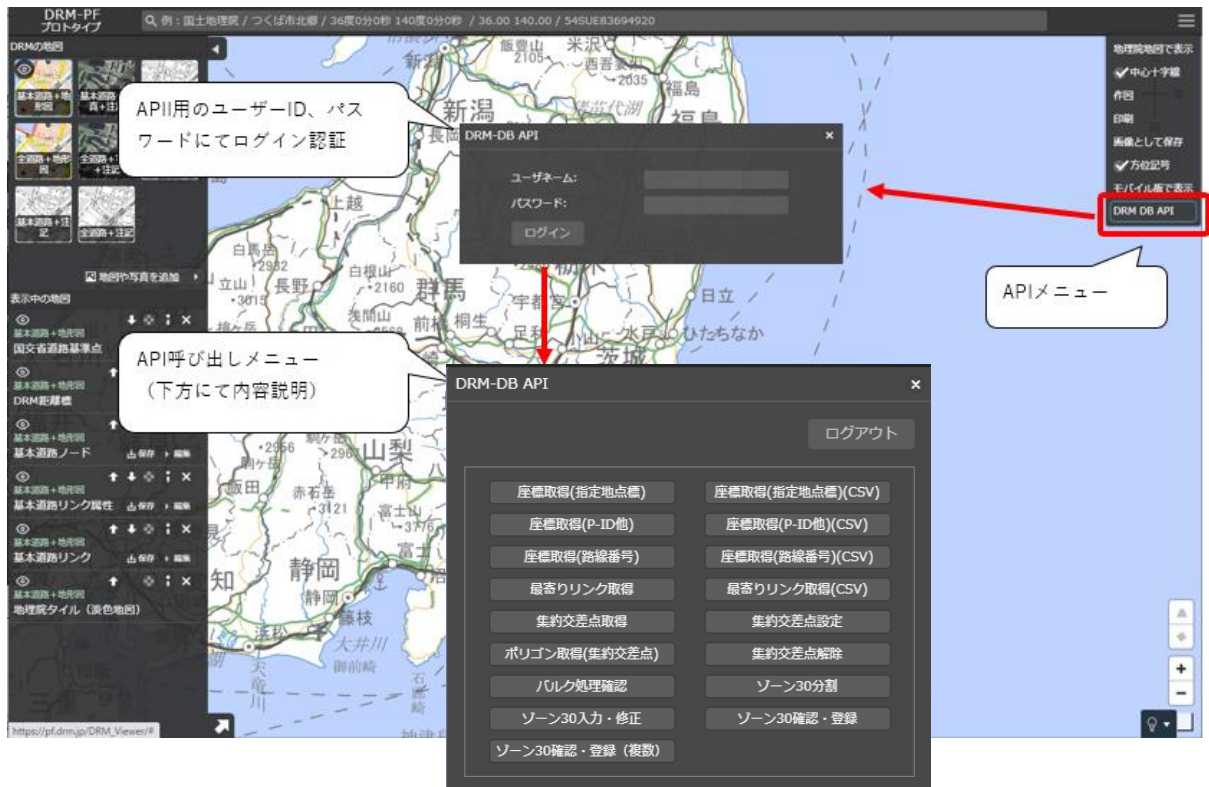
2. 個別操作編

2. 1. DRM DB API ログイン

画面から API を呼び出すためのログイン認証が必要になります。

認証されると、API 呼び出しメニューが表示されます。

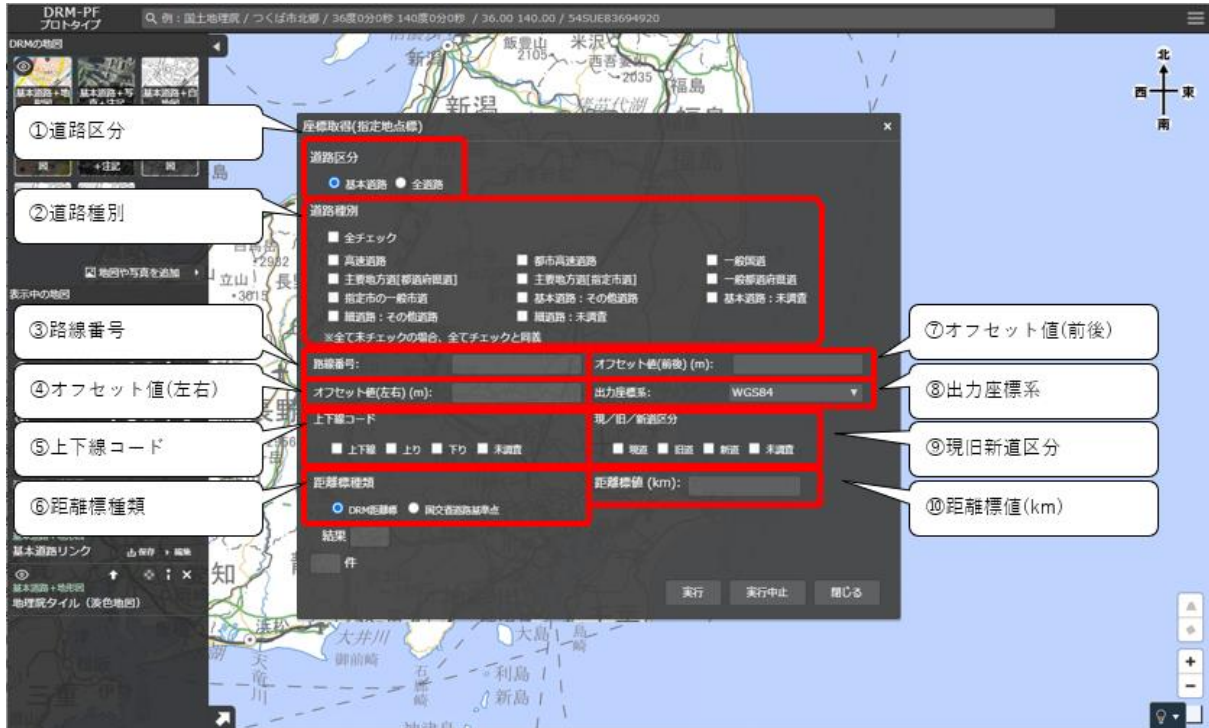
なお、使用可能な API はユーザーのロール（権限：「一般ユーザー」「道路管理者」など）によって異なります。



2. 2. 座標取得（指定地点標）機能

指定地点標（路線番号と距離標の値）、オフセット値（前後の距離、左右の距離）で指定される地点の座標を返します。

※画面項目については、下方にて詳細説明

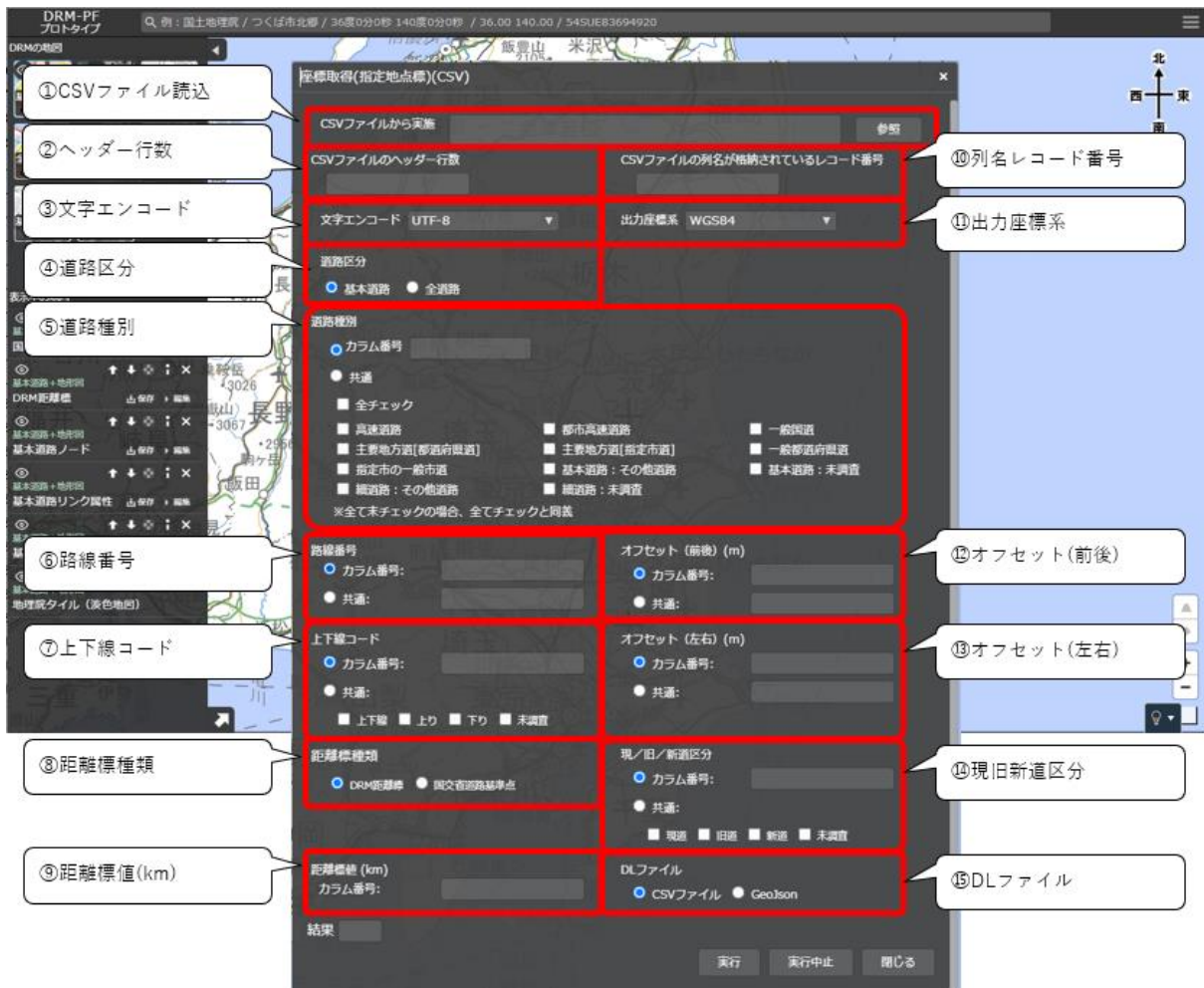


項目	説明
①道路区分	画面から選択
②道路種別	画面から選択
③路線番号	半角数字で指定（例：国道1号線の場合、1）
④オフセット値(左右)	指定地点からのオフセット値（左右の距離）。進行方向（路線の起点から終点に向かう向き）に対して、左側をプラス値、右側をマイナス値で指定する。（例：右側20mの場合：-20）
⑤上下線コード	画面から選択
⑥距離標種類	画面から選択。距離標種類の違いについては、「 距離標について 」参照
⑦オフセット値(前後)	指定地点からのオフセット値（前後の距離）。進行方向（路線の起点から終点に向かう向き）に対して、後方をマイナス値、前方をプラス値で指定する。
⑧出力座標系	画面から選択
⑨現旧新道区分	画面から選択
⑩距離標値(km)	半角数字で指定。単位はキロメートル

2. 3. 座標取得（指定地点標） CSV 機能

座標取得（指定地点標）機能のバルク版。CSV ファイルで処理します。

※画面項目については、下方にて詳細説明



項目	説明
① CSV ファイル読み込み	バルク処理する CSV ファイルを指定
② ヘッダー行数	CSV ファイルのヘッダー（データとして扱わない行）の行数
③ 文字エンコード	画面から選択
④ 道路区分	画面から選択
⑤ 道路種別	CSV ファイルに含まれる、「道路種別」のカラム番号 (1 以上の整数値)。または、画面から選択
⑥ 路線番号	CSV ファイルに含まれる、「路線番号」のカラム番号 (1 以上の整数値)。または、画面から選択
⑦ 上下線コード	CSV ファイルに含まれる、「上下線コード」のカラム番号 (1 以上の整数値)。または、画面から選択
⑧ 距離標種類	画面から選択

項目	説明
⑨距離標値(km)	CSV ファイルに含まれる、「距離標値」のカラム番号(1以上の整数値)。単位はキロメートル
⑩列名レコード番号	CSV ファイルのヘッダー列名が格納されているレコードの行番号(1以上の整数値)
⑪出力座標系	画面から選択
⑫オフセット(前後)	CSV ファイルに含まれる、「オフセット(前後)」のカラム番号(1以上の整数値)。または、画面から選択
⑬オフセット(左右)	CSV ファイルに含まれる、「オフセット(左右)」のカラム番号(1以上の整数値)。または、画面から選択
⑭現旧新道区分	CSV ファイルに含まれる、「現旧新道区分」のカラム番号(1以上の整数値)。または、画面から選択
⑮DL ファイル	画面から選択

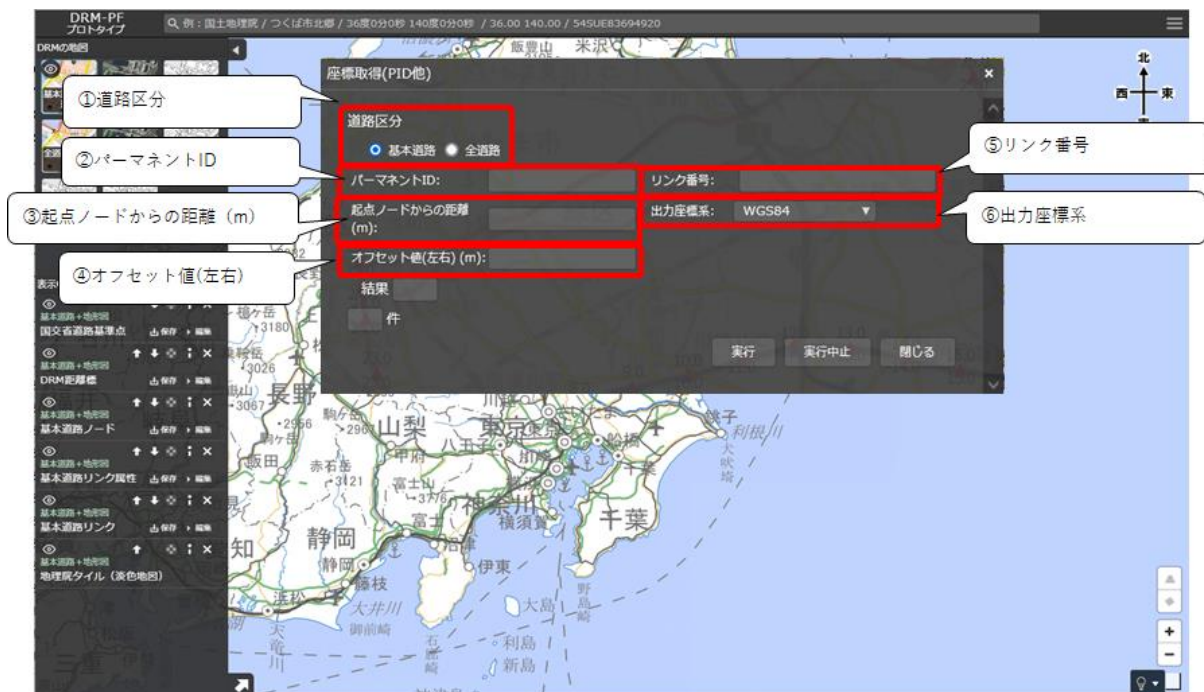
※処理が終わると以下のように表示されます。結果ファイルは「バルク処理確認画面」からダウンロードできます。詳細は「2. 14. バルク処理確認機能」を参照してください。



2. 4. 座標取得 (PID 他) 機能

パーマネント ID、リンク番号、起点ノードからの距離、オフセット値（左右の距離）で指定される地点の座標を返します。

※画面項目については、下方にて詳細説明

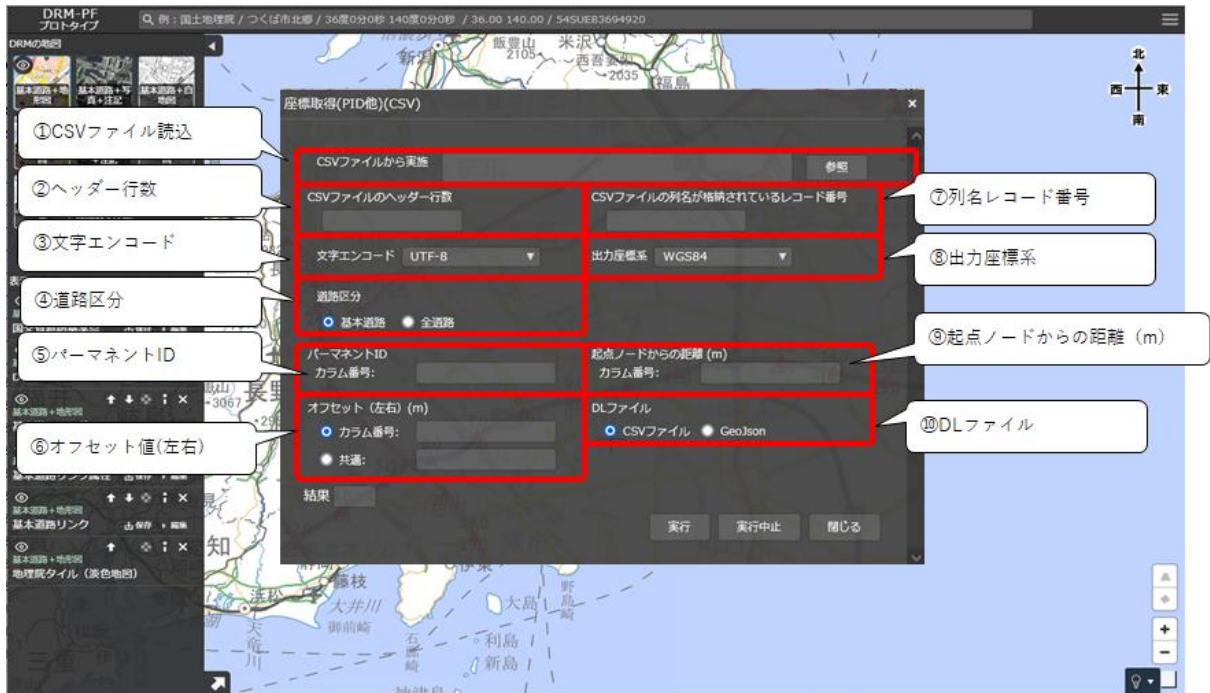


項目	説明
①道路区分	画面から選択
②パーマネント ID	半角数字で指定
③起点ノードからの距離 (m)	半角数字で指定
④オフセット値 (左右)	指定地点からのオフセット値 (左右の距離)。進行方向 (路線の起点から終点に向かう向き) に対して、左側をプラス値、右側をマイナス値で指定する。(例: 右側 20m の場合: -20)
⑤リンク番号	半角数字で指定
⑥出力座標系	画面から選択

2. 5. 座標取得 (PID 他) CSV 機能

座標取得 (PID 他) 機能のバルク版。CSV ファイルで処理します。

※画面項目については、下方にて詳細説明



項目	説明
①CSV ファイル読込	バルク処理する CSV ファイルを指定
②ヘッダ行数	CSV ファイルのヘッダ (データとして扱わない行) の行数
③文字エンコード	画面から選択
④道路区分	画面から選択
⑤パーマネント ID	CSV ファイルに含まれる、「パーマネント ID」のカラム番号 (1 以上の整数値)。または、画面から選択
⑥オフセット値 (左右)	CSV ファイルに含まれる、「オフセット(左右)」のカラム番号 (1 以上の整数値)。または、画面から選択
⑦列名レコード番号	CSV ファイルのヘッダ列名が格納されているレコードの行番号(1 以上の整数値)
⑧出力座標系	画面から選択
⑨起点ノードからの距離 (m)	CSV ファイルに含まれる、「起点ノードからの距離(m)」のカラム番号 (1 以上の整数値)。または、画面から選択
⑩DL ファイル	画面から選択

※処理が終わると以下のように表示されます。結果ファイルは「バルク処理確認画面」からダウンロードできます。詳細は「2. 14. バルク処理確認機能」を参照してください。

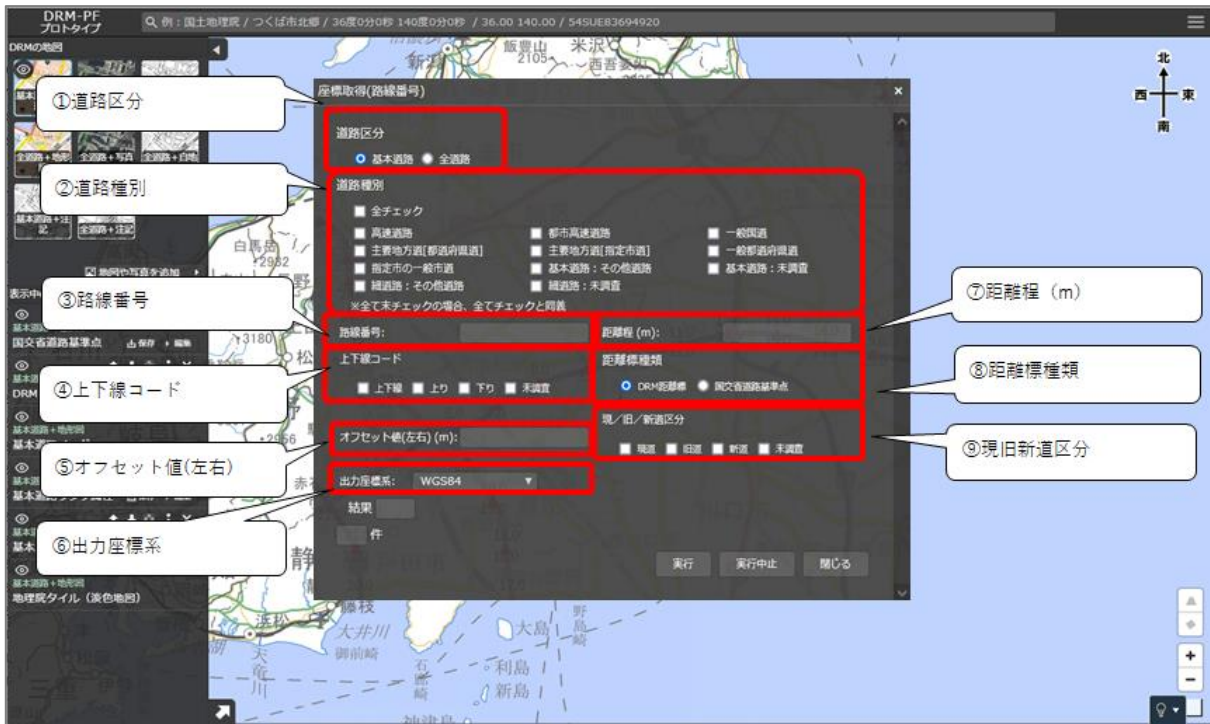
結果 OK

バルク処理確認画面よりDLしてください。

2. 6. 座標取得（路線番号）機能

路線番号、距離程、オフセット値（左右の距離）で指定される地点の座標を返します。

※画面項目については、下方にて詳細説明

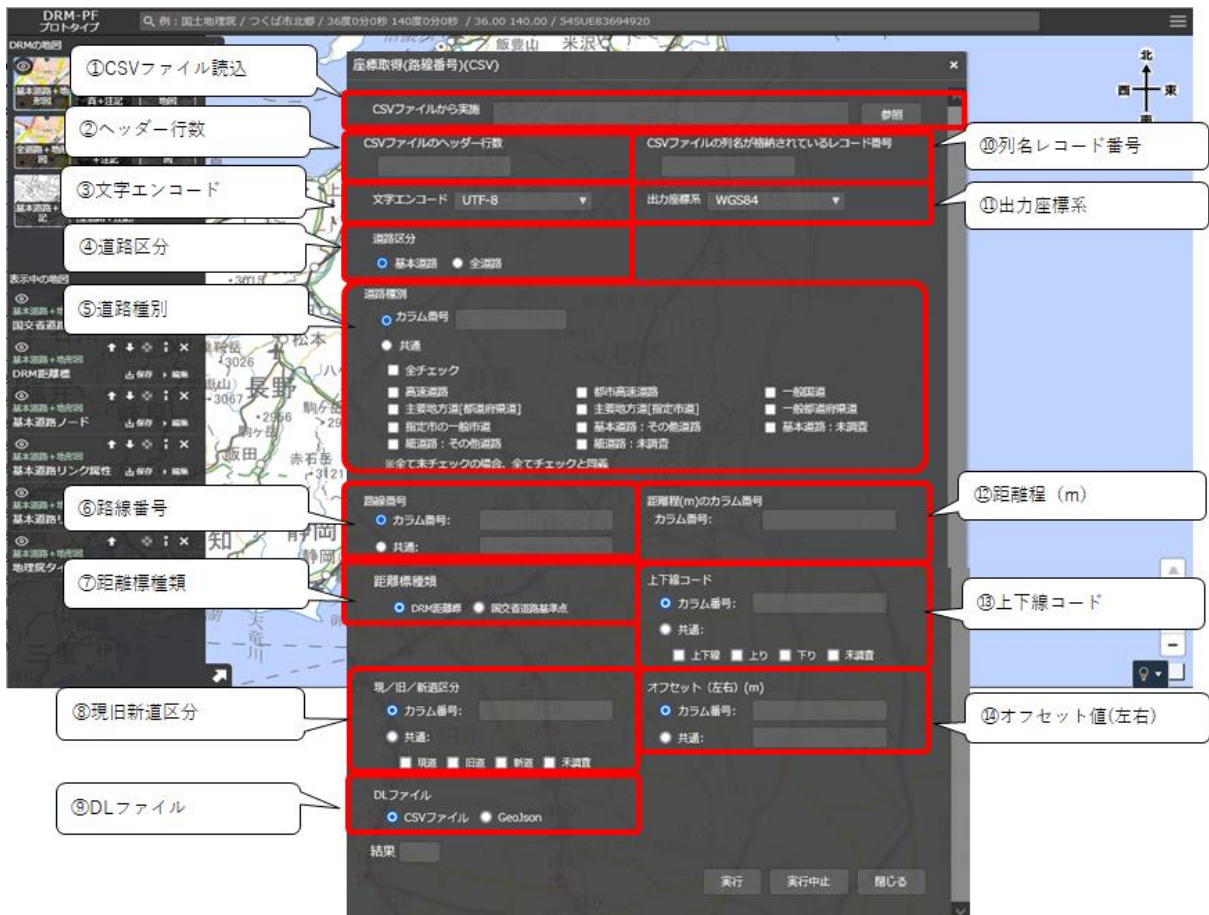


項目	説明
①道路区分	画面から選択
②道路種別	画面から選択
③路線番号	半角数字で指定（例：国道1号線の場合、1）
④上下線コード	画面から選択
⑤オフセット値(左右)	指指定地点からのオフセット値（左右の距離）。進行方向（路線の起点から終点に向かう向き）に対して、左側をプラス値、右側をマイナス値で指定する。（例：右側20mの場合：-20）
⑥出力座標系	画面から選択
⑦距離程(m)	半角数字で指定。単位はメートル
⑧距離標種類	画面から選択。距離標種類の違いについては、「 距離標について 」参照
⑨現旧新道区分	画面から選択

2. 7. 座標取得（路線番号） CSV 機能

座標取得（路線番号）機能のバルク版。CSV ファイルで処理します。

※画面項目については、下方にて詳細説明



項目	説明
①CSV ファイル読み込	バルク処理する CSV ファイルを指定
②ヘッダー行数	CSV ファイルのヘッダー（データとして扱わない行）の行数
③文字エンコード	画面から選択
④道路区分	画面から選択
⑤道路種別	CSV ファイルに含まれる、「道路種別」のカラム番号（1 以上の整数値）。または、画面から選択
⑥路線番号	CSV ファイルに含まれる、「路線番号」のカラム番号（1 以上の整数値）。または、画面から選択
⑦距離標種類	画面から選択
⑧現旧新道区分	CSV ファイルに含まれる、「現旧新道区分」のカラム番号（1 以上の整数値）。または、画面から選択
⑨DL ファイル	画面から選択
⑩列名レコード番号	CSV ファイルのヘッダー列名が格納されているレコードの行番号（1 以上の整数値）

項目	説明
⑪出力座標系	画面から選択
⑫距離程 (m)	CSV ファイルに含まれる、「距離程(m)」のカラム番号 (1 以上の整数値)。または、画面から選択
⑬上下線コード	CSV ファイルに含まれる、「上下線コード」のカラム番号 (1 以上の整数値)。または、画面から選択
⑭オフセット値 (左右)	CSV ファイルに含まれる、「オフセット(左右)」のカラム番号 (1 以上の整数値)。または、画面から選択

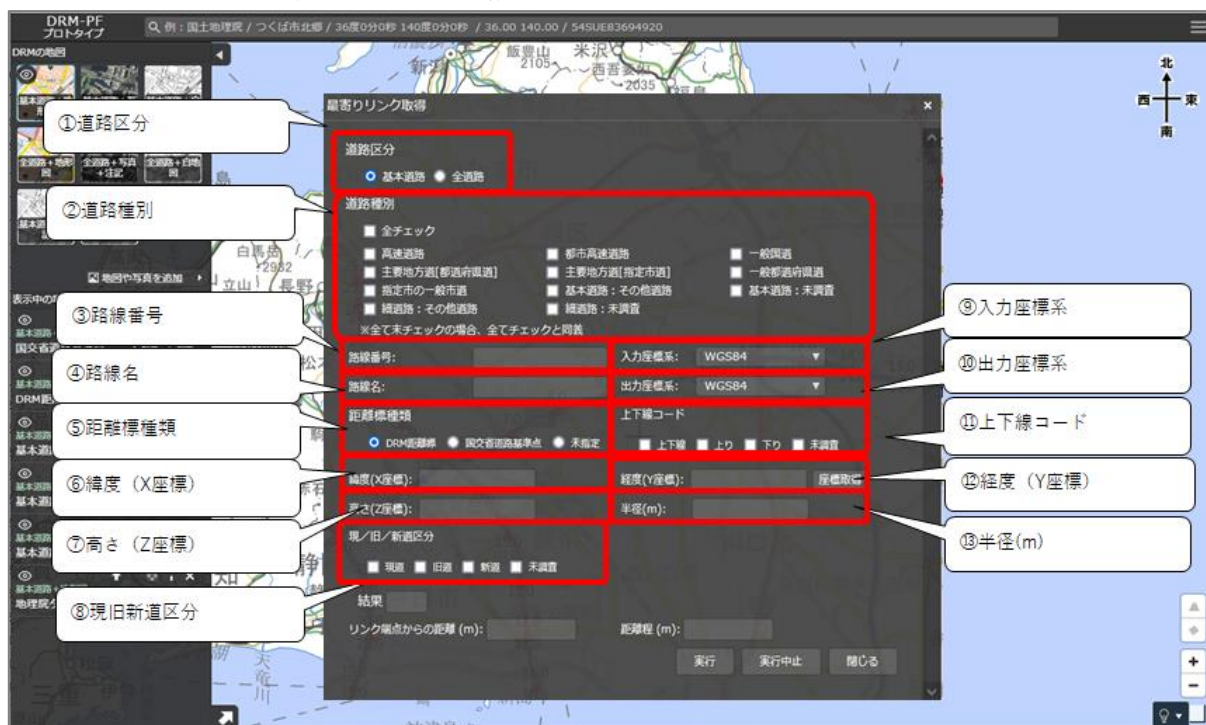
※処理が終わると以下のように表示されます。結果ファイルは「バルク処理確認画面」からダウンロードできます。詳細は「2. 14. バルク処理確認機能」を参照してください。



2. 8. 最寄りリンク取得機能

指定地点から最寄りのリンクを探索します。

※画面項目については、下方にて詳細説明



項目	説明
①道路区分	画面から選択
②道路種別	画面から選択
③路線番号	半角数字で指定（例：国道1号線の場合、1）
④路線名	画面から入力
⑤距離標種類	画面から選択。距離標種類の違いについては、「 距離標について 」参照
⑥緯度(X座標)	画面から入力。座標取得ボタンより、地図画面クリックにより、自動入力。
⑦高さ(Z座標)	画面から入力
⑧現旧新道区分	画面から選択
⑨入力座標系	画面から選択
⑩出力座標系	画面から選択
⑪上下線コード	画面から選択
⑫経度(Y座標)	画面から入力。座標取得ボタンより、地図画面クリックにより、自動入力。
⑬半径(m)	半角数字で指定。単位はメートル

2. 9. 最寄りリンク取得 CSV 機能

最寄りリンク取得機能のバルク版。CSV ファイルで処理します。

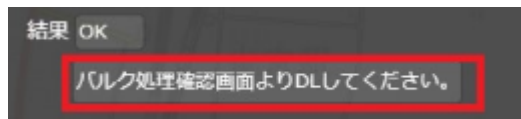
※画面項目については、下方にて詳細説明



項目	説明
① CSV ファイル読込	バルク処理する CSV ファイルを指定
② ヘッダー行数	CSV ファイルのヘッダー（データとして扱わない行）の行数
③ 道路区分	画面から選択
④ 道路種別	CSV ファイルに含まれる、「道路種別」のカラム番号（1 以上の整数値）。または、画面から選択
⑤ 文字エンコード	画面から選択
⑥ 入力座標系	画面から選択
⑦ 路線名	CSV ファイルに含まれる、「路線名」のカラム番号（1 以上の整数値）。または、画面から入力
⑧ 現旧新道区分	CSV ファイルに含まれる、「現旧新道区分」のカラム番号（1 以上の整数値）。または、画面から選択

項目	説明
⑨緯度 (X 座標)	CSV ファイルに含まれる、「緯度 (X 座標)」のカラム番号 (1 以上の整数値)。
⑩高さ (Z 座標)	CSV ファイルに含まれる、「高さ (Z 座標)」のカラム番号 (1 以上の整数値)。
⑪半径(m)	CSV ファイルに含まれる、「半径 (m)」のカラム番号 (1 以上の整数値)。
⑫列名レコード番号	CSV ファイルのヘッダー列名が格納されているレコードの行番号(1 以上の整数値)
⑬出力座標系	画面から選択
⑭路線番号	CSV ファイルに含まれる、「路線番号」のカラム番号 (1 以上の整数値)。 または、画面から選択
⑮上下線コード	CSV ファイルに含まれる、「上下線コード」のカラム番号 (1 以上の整数値)。または、画面から選択
⑯経度 (Y 座標)	CSV ファイルに含まれる、「経度 (Y 座標)」のカラム番号 (1 以上の整数値)。
⑰距離標種類	画面から選択
⑱DL ファイル	画面から選択

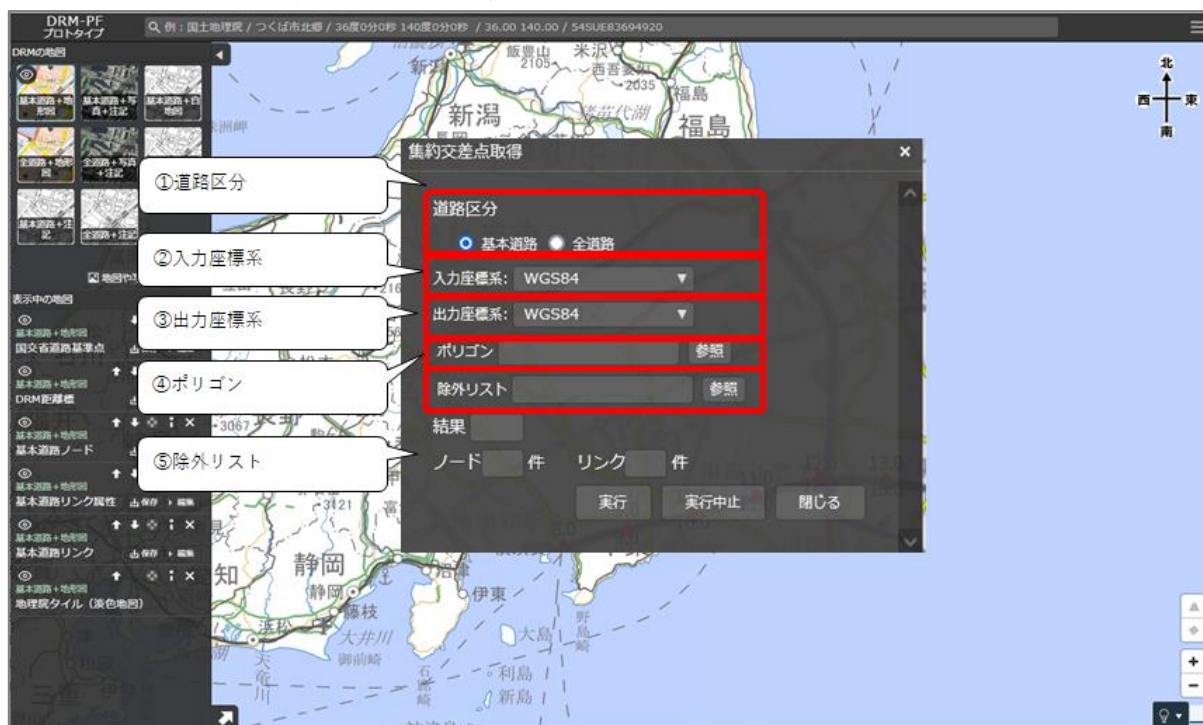
※処理が終わると以下のように表示されます。結果ファイルは「バルク処理確認画面」からダウンロードできます。詳細は「2. 14. バルク処理確認機能」を参照してください。



2. 10. 集約交差点取得機能

除外リストを除いた指定範囲のノード及びリンクのパーマネント ID を取得します。

※画面項目については、下方にて詳細説明

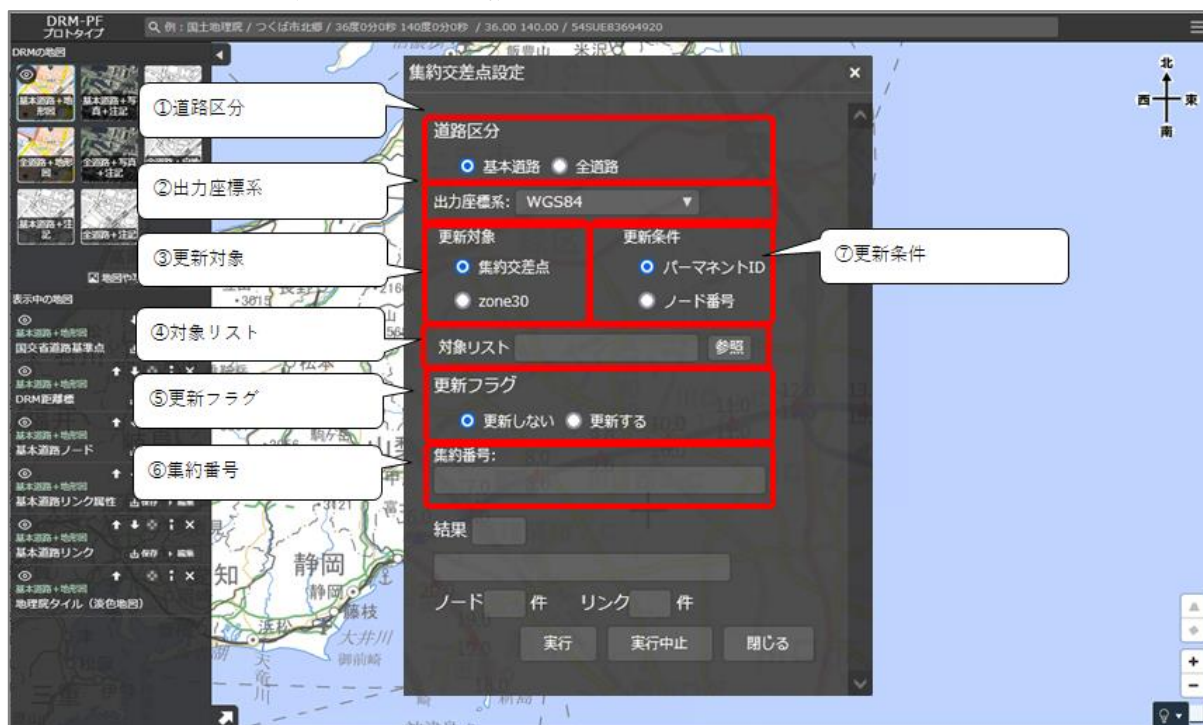


項目	説明
①道路区分	画面から選択
②入力座標系	画面から選択
③出力座標系	画面から選択
④ポリゴン	外部ファイル（ポリゴン）を指定。
⑤除外リスト	パーマネント ID がカンマ区切りとなっている CSV ファイルを指定。

2. 1 1. 集約交差点設定機能

パーマネント ID から、集約交差点（ゾーン 30 対応含む）を設定します。

※画面項目については、下方にて詳細説明

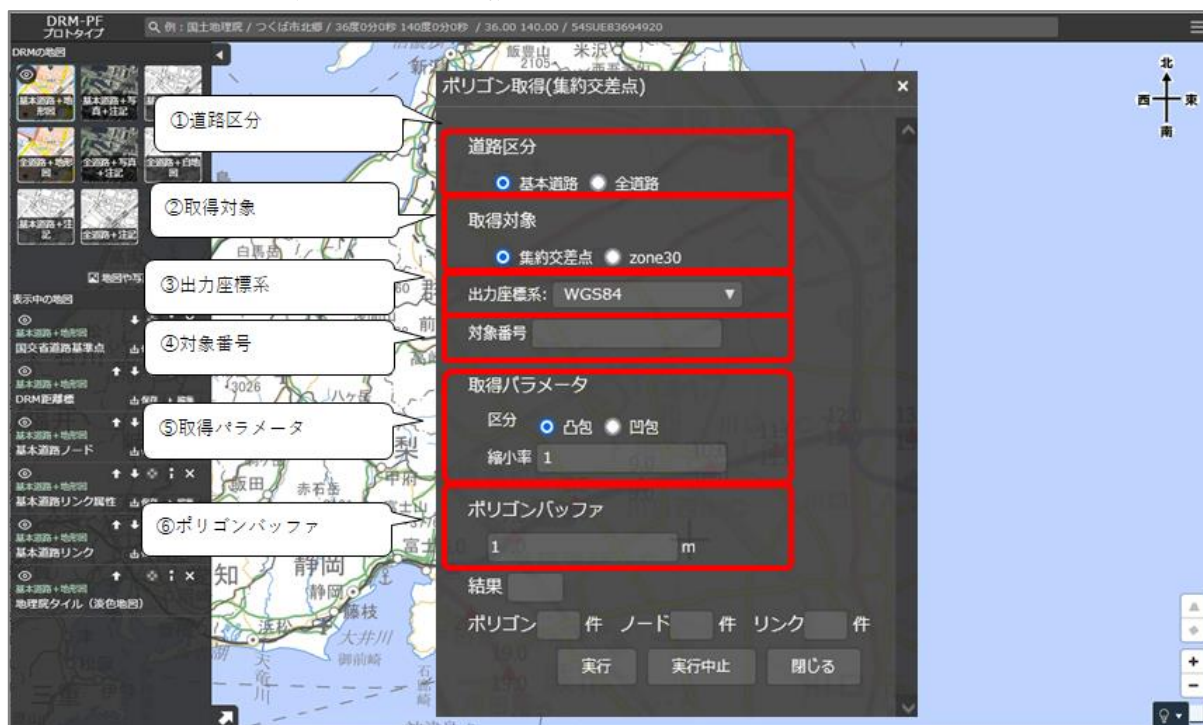


項目	説明
①道路区分	画面から選択
②出力座標系	画面から選択
③更新対象	画面から選択
④対象リスト	⑦更新条件の項目がカンマ区切りとなっている CSV ファイルを指定
⑤更新フラグ	画面から選択
⑥集約番号	画面から入力
⑦更新条件	画面から選択

2. 1 2. ポリゴン取得（集約交差点）機能

集約交差点（ゾーン 30 含む）をポリゴンとして取得します。

※画面項目については、下方にて詳細説明

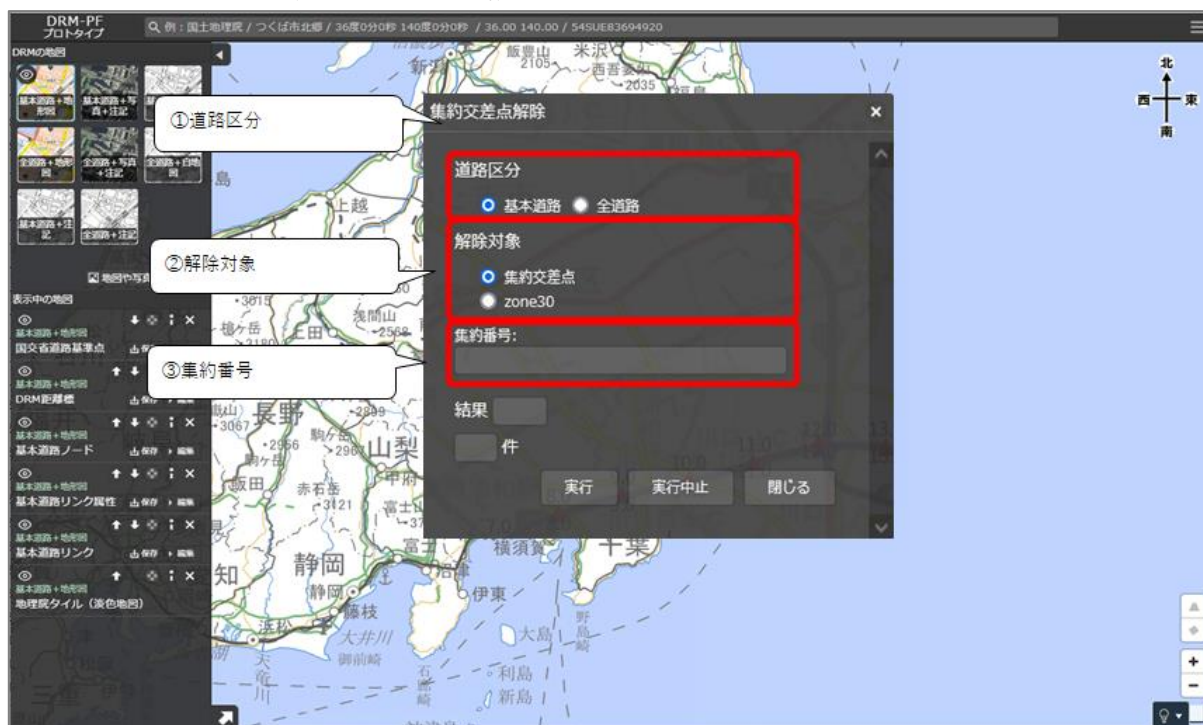


項目	説明
①道路区分	画面から選択
②取得対象	画面から選択
③出力座標系	画面から選択
④対象番号	画面から入力
⑤取得パラメータ	画面から選択、入力
⑥ポリゴンバッファ	画面から入力

2. 1.3. 集約交差点解除機能

設定済の集約交差点（ゾーン 30 含む）を解除します。

※画面項目については、下方にて詳細説明



項目	説明
①道路区分	画面から選択
②解除対象	画面から選択
③集約番号	画面から入力

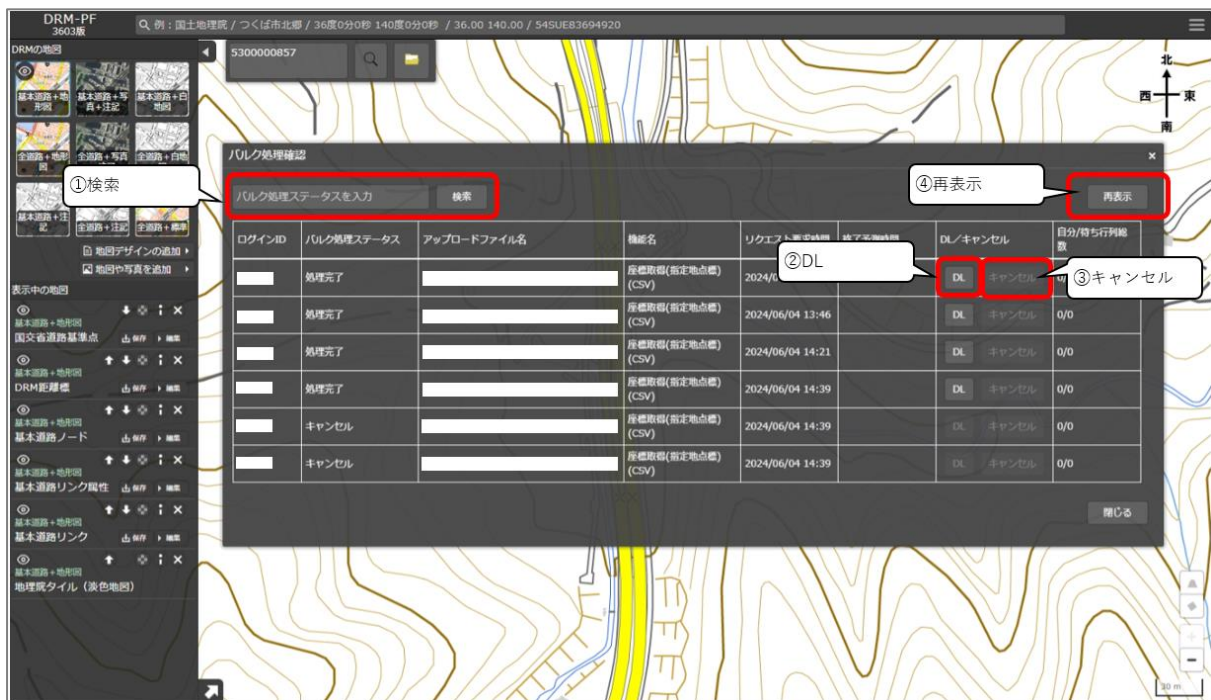
2. 1 4. バルク処理確認機能

API メニューからバルク処理確認画面を開くと、実行中のバルク処理（「座標取得（指定地点標） CSV 機能」など）の確認、キャンセル、結果ダウンロードができます。



一覧に表示されるリストは、ログインしている ID のユーザーのバルク処理のみです。

※画面項目については、下方にて詳細説明

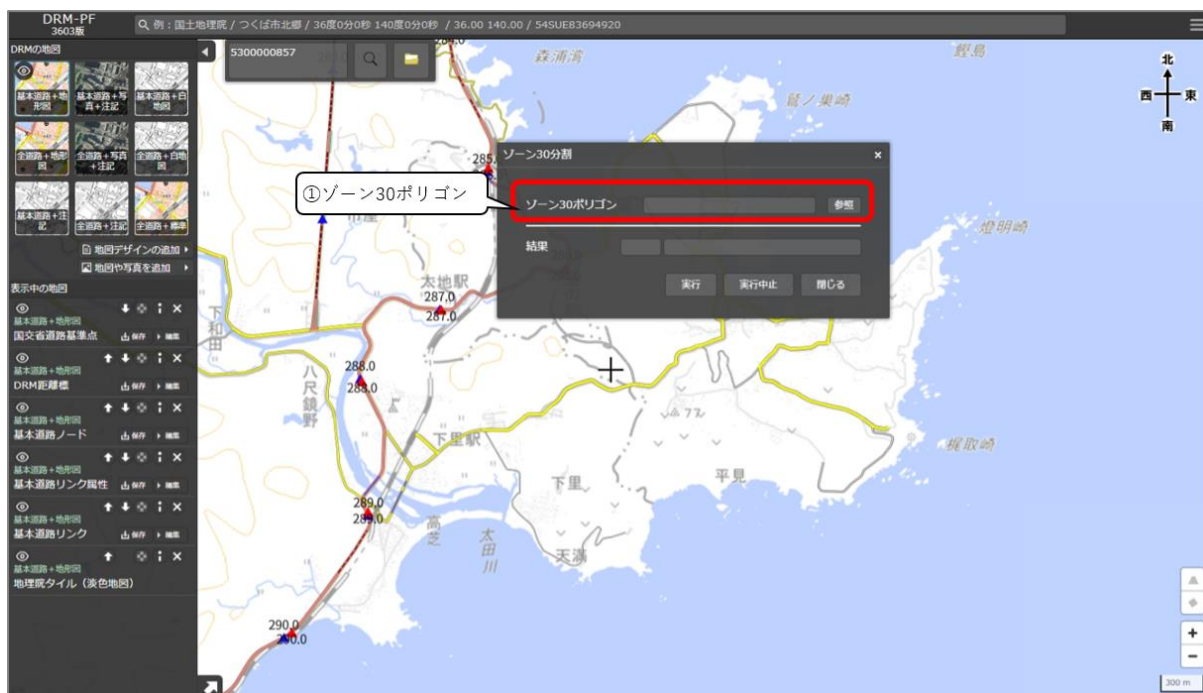


項目	説明
①検索	バルク処理ステータスをキーにバルク処理のリストを検索
②DL	バルク処理結果ファイルの DL を実施
③キャンセル	バルク処理キャンセルを実施
④再表示	画面を再表示（リストを更新）する

2. 1 5. ゾーン 30 分割機能

ゾーン 30 ポリゴンの分割を実施します。

※画面項目については、下方にて詳細説明

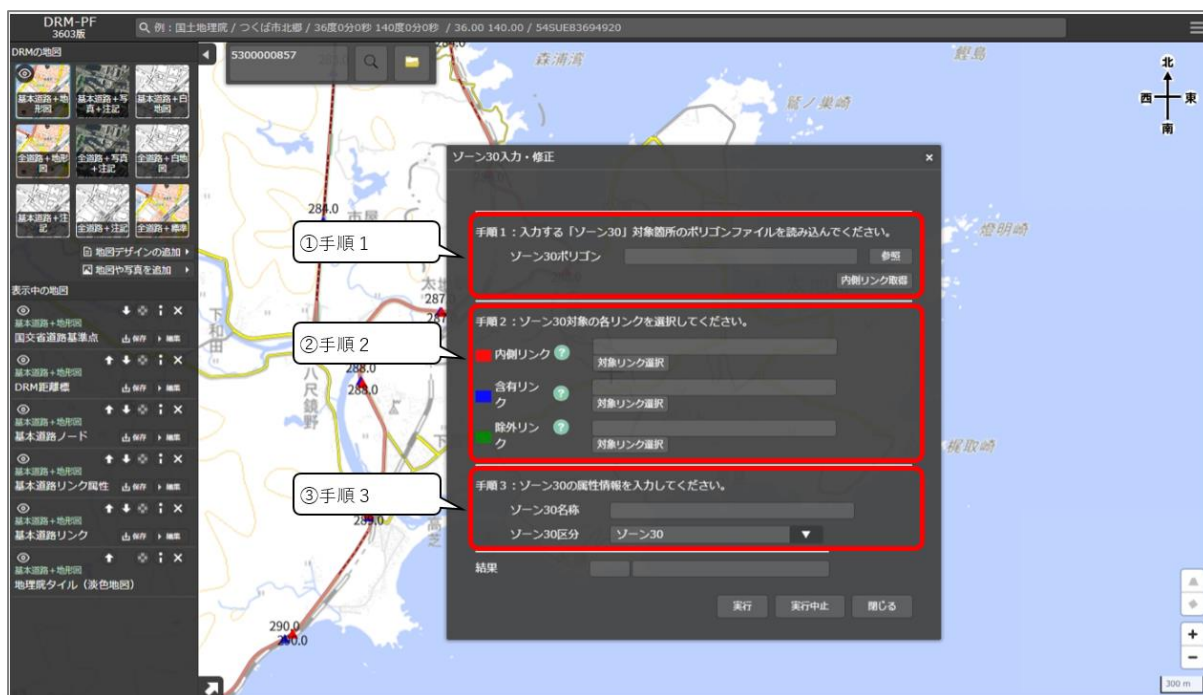


項目	説明
①ゾーン 30 ポリゴン	ポリゴン geojson ファイルを指定

2. 1 6. ゾーン 30 入力・修正

ゾーン 30 ポリゴンの属性情報を指定したリンクに登録します。

※画面項目については、下方にて詳細説明



項目	説明
①手順 1	ポリゴンの geojson ファイルを選択 「内側リンク取得」ではゾーン 30 ポリゴンに接する全道路リンクを取得し、内側リンクのテキストボックスに表示する
②手順 2	内側リンク、含有リンク、除外リンクを画面から選択
③手順 3	名称を入力し、区分を画面から選択

【用語説明】

内側リンク：ポリゴンの内側にあり、ゾーン 30 対象が明らかなリンク

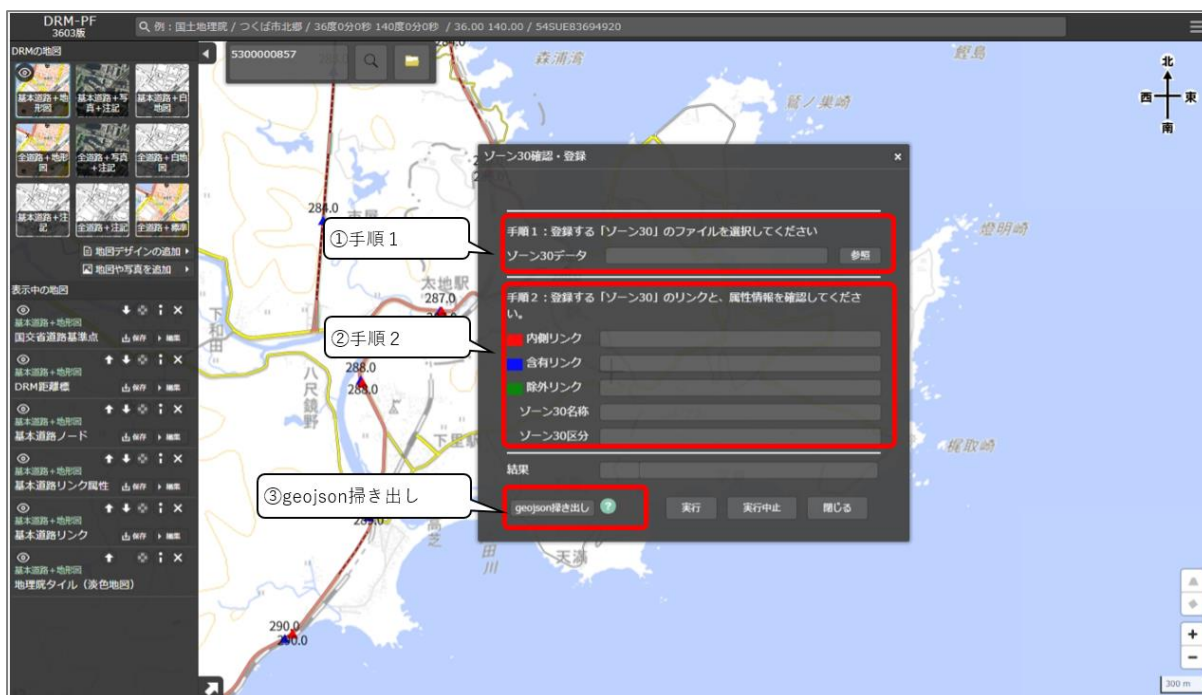
含有リンク：ポリゴンの内側には存在していないが、ゾーン 30（ゾーン 30+）対象のリンク

除外リンク：ポリゴンの内側に存在しているが、ゾーン 30（ゾーン 30+）対象外のリンク

2. 17. ゾーン 30 確認・登録

ゾーン 30 ポリゴンの属性情報を確認します。

※画面項目については、下方にて詳細説明



項目	説明
①手順1	登録するファイルを指定
②手順2	ファイルから読み取った内側リンク、含有リンク、除外リンク、ゾーン30名称、ゾーン30区分を表示
③geojson掃き出し	ゾーン30の全データを表示

【用語説明】

内側リンク：ポリゴンの内側にあり、ゾーン30対象が明らかなリンク

含有リンク：ポリゴンの内側には存在していないが、ゾーン30（ゾーン30+）対象のリンク

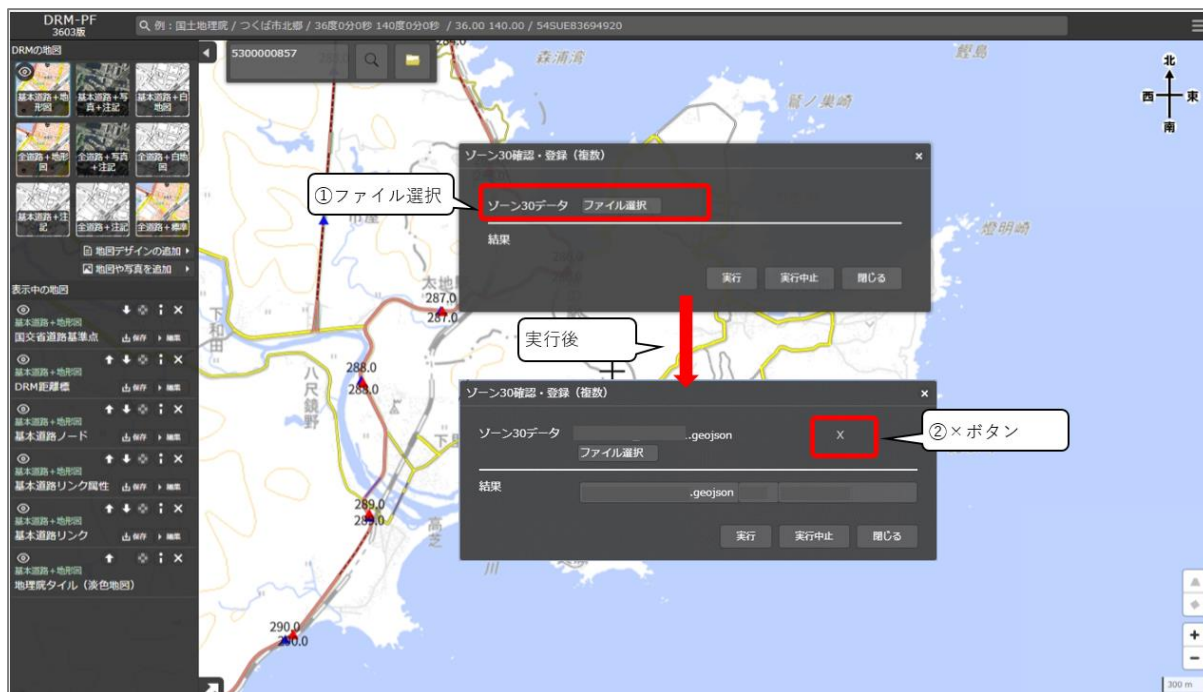
除外リンク：ポリゴンの内側に存在しているが、ゾーン30（ゾーン30+）対象外のリンク

2. 1 8. ゾーン 30 確認・登録（複数）

ゾーン 30 ポリゴンの属性情報を確認します。

複数ファイルを選択して確認することができます。

※画面項目については、下方にて詳細説明



項目	説明
①ファイル選択	登録するファイルを指定（複数選択可能）
②×ボタン	指定したファイルを解除

2. 19. ルート検索

ルート検索を実行します。

※画面項目については、下方にて詳細説明

The screenshot shows a 'ルート検索' (Route Search) dialog box. It contains several sections:

- 道路区分 (Road Classification):** Radio buttons for '基本道路' (Basic Road) and '全道路' (All Roads). Callout ① points to this section.
- 道路種別 (Road Type):** A grid of checkboxes for various road types such as '高速道路' (Expressway), '一般国道' (General National Road), etc. Callout ② points to this section.
- 座標系 (Coordinate System):** Dropdown menus for '入力座標系' (Input Coordinate System) and '出力座標系' (Output Coordinate System), both set to 'WGS84'. Callout ③ points to these dropdowns.
- 始点 (1点目)座標 (Start Point (1st Point) Coordinates):** Input fields for '緯度(X座標)' (Latitude/X-coordinate), '経度(Y座標)' (Longitude/Y-coordinate), and '高さ(Z座標)' (Height/Z-coordinate), along with a '座標取得' (Get Coordinates) button. Callout ④ points to this section.
- 終点 (2点目)座標 (End Point (2nd Point) Coordinates):** Similar input fields and button as the start point. Callout ⑤ points to this section.
- 検索方法 (Search Method):** Radio buttons for '地方区切り' (Regional) and '全国' (National). Callout ⑥ points to this section.

 At the bottom, there are buttons for '実行' (Execute), '実行中止' (Cancel), and '閉じる' (Close).

項目	説明
①道路区分	画面から選択
②道路種別	画面から選択
③入出力座標系	画面から選択
④始点座標	画面から入力。座標取得ボタンより、地図画面クリックにより、自動入力。
⑤終点座標	画面から入力。座標取得ボタンより、地図画面クリックにより、自動入力。
⑥検索方法	始点終点と同じ地方の範囲内であれば（例：関東）「地方区切り」を選択することで処理が速くなる。違う地方であれば「全国」を選択。

3. 応用編

3. 1. 道路リスクアセスメント可視化

P-ID 検索機能に「線種、色、コメント」を付加できます。

入力フォーマット：

No	指定の種類	指定子	指定方法	デフォルト値	指定例
1	線の幅	border-width	数値 (ピクセル)	3	15
2	線の色	border-color	RGB 値	#3388ff	#0000FF rgb(0,0,255)
3	線の種類	border-style	以下の文字列 実線、破線、点線	実線	実線
4	テキスト表示	note	文字列	-	災害封鎖中
5	テキストのサイズ	font-size	数値 (ピクセル)	10	15
6	テキストの色	color	RGB 値	#FF0000	#0000FF rgb(0,0,255)

例：

7010003005.00000+<style="border-style:実線;border-width:10;border-color:rgb(0, 255, 0);note:テスト 1">



[最終頁]